

牛久市都市計画審議会議事録		日時	令和7年7月7日（月曜日）
件名	令和7年度 第1回 牛久市都市計画審議会	場所 時間	牛久市役所本庁舎4階 第4会議室 15：00～15：40
作成年月日	令和7年7月15日（火曜日）	作成者	都市計画課：尾崎 友亮
出席者	(出席委員) 岡本 直久委員、雨宮 護委員、高橋 研二委員、 桑名 美恵子委員、橋本 庄司委員、野口 知重委員 山越 康義委員、御代川 栄子委員、関口 一正委員 中谷 文治委員（代理：常総国道事務所 松川 洋一副所長） 寺家 喜重委員（代理：竜ヶ崎工事事務所 東ヶ崎 祐二係長） (牛久市) 沼田市長、野島建設部長 (事務局) 加藤都市計画課長、花島課長補佐、風間主任、尾崎主事 (傍聴者) 0名 (順不同)		
議事内容	【審議事項】 令和7年牛久市諮問第12号 竜ヶ崎・牛久都市計画 生産緑地地区の変更について 【報告事項】 県道整備に伴う火葬場の区域変更について		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委嘱状交付 4. 会長挨拶 5. 諮問 ・沼田市長が諮問書を読み上げ、岡本会長へ手渡す。 ・牛久市諮問第12号 竜ヶ崎・牛久都市計画生産緑地地区の変更（牛久市決定）について 6. 議事 【審議事項】 竜ヶ崎・牛久都市計画 生産緑地地区の変更について ○竜ヶ崎・牛久都市計画生産緑地地区の変更について事務局が資料をもとに説明。 ＜竜ヶ崎・牛久都市計画生産緑地地区の変更＞ ◎質疑 (委 員) 令和6年8月12日に告示から30年経過した生産緑地地区は今回対象の2箇所以外にあるのか。 (事 務 局) 令和6年度に期限を迎えるものは、すべてひたち野地区で合計4箇所あり、今回対象の2箇所以外は特定生産緑地として延長している。 ◆原案の決定 生産緑地地区の変更について ・岡本会長が全出席委員に対して、原案のとおり答申することに意見がないか確認する。 ・全ての委員について「異議なし」の答申を受ける。			

【報告事項】

県道整備に伴う火葬場の区域変更について

○県道整備に伴う火葬場の区域変更について事務局が資料をもとに説明。

＜県道整備に伴う火葬場の区域変更（事前説明）＞ ※令和８年度の審議会で諮問

◎質疑

（ 委 員 ） 図面を見ると、火葬場の中に道路が入っているが、公道か。

（ 事 務 局 ） 火葬場の中の通路である。

（ 委 員 ） 火葬場の区域の中に点線が引かれているが、これは何か。

（ 委 員 ） 今までは竜ヶ崎阿見線から直接火葬場に入れていたが、竜ヶ崎阿見線バイパスを整備するにあたり、側道が火葬場の通路にぶつかる部分から竜ヶ崎阿見線バイパスに入る形になるため、その側道の取り付け部分までを公道扱いとし、公道のエリアと火葬場のエリアを点線で区切っている。

（ 委 員 ） この側道はこれから作るのか。

（ 委 員 ） はい。

（ 委 員 ） どうしても作らなくてはいけないのか。

（ 委 員 ） 竜ヶ崎阿見線バイパスは４車線道路になっており、中央分離帯で仕切られてしまう。バイパスで現道の行き来ができなくなってしまう。そのため、側道で交差点一か所に集約し、左右に出られるようにしている。

（ 委 員 ） 竜ヶ崎阿見線バイパスでカーブしているあたりは盛土になるのか。

（ 委 員 ） なる。

（ 委 員 ） ３メートル位か。

（ 委 員 ） そこまではいかないと思う。

（ 委 員 ） 旧道のところの橋が台風の時等に冠水する。

（ 委 員 ） バイパスでその部分は迂回する。位置図上において黄色で示されているのが、現道。屈曲が少ないようにバイパスを整備する。

（ 委 員 ） この場所について信号機が設置されないため、側道を作ろうという趣旨だと理解している。

（ 委 員 ） 信号機の設置については、警察署の判断によるところがある。バイパスではなく側道側で、ある程度交通量が見込まれると、信号機の設置の話が出てくると思うが、現状では、警察との協議の中で意見は挙げているものの最終的な結論には至っていない。

（ 委 員 ） ここは、二車線道路と地元のニーズの都合上、このような形になるのは良いと思う。住民にも便利になるのでご理解をという話はしている。

（ 委 員 ） 火葬場の入口ゲートははずすのか。

（ 委 員 ） 牛久市とも協議をしているところであるが、自由に出入りされても困るので、工事期間中も含めて何らかの形で入場制限ができるようにする。

（ 委 員 ） 位置図上、赤点線の先にも南側に黒点線が伸びているが、これはどこにつながるのか。

（ 委 員 ） 位置図上、黄色の八代庄兵衛新田線という道路にぶつかる計画になっている。

（ 委 員 ） 火葬場への出入りは、市道１８３９号線からではなく、今まで通り大通りからの出入りか。

(委 員) 火葬場の区域の中に点線で示された線があるが、この辺りにゲートを建てて公道と私有地が区切られる。現在の状況とは若干変わってくる。

6. 答申

- ・岡本会長が答申書を読み上げ、沼田市長へ手渡す。

7. 閉会